



佐用町



NEWS RELEASE

2014年10月28日

No. 広14-10

佐用・IDEC 申山太陽光発電所(5メガワット)発電開始
“国内初”伝統の木造建築のメガソーラー施設完成!
テーマは、グローバルNo1を目指す環境に優しいメガソーラー

佐用町(町長:庵途典章)とIDEC株式会社(社長:船木俊之)は、原子力発電問題によるエネルギーの安定供給ならびに地球温暖化問題への対応と、“再生可能エネルギー導入”による“循環型環境配慮社会 実現への貢献”を図るべく、10万平米の敷地に5メガワットの発電能力を有する「佐用・IDEC 申山太陽光発電所」“メガソーラー”を建設・完成させ11月より発電を開始いたします。

1. 事業の特長

1) “国内初”伝統の木造建築構造を太陽光パネル架台に採用【特許出願中、意匠登録済】

- ◆部材には兵庫県産ほか国内産木材を使用 **“地域産業への貢献”**
- ◆架台の設置工事、パネルの固定・設置時間を短縮 **“作業工数の削減を実現”**
- ◆日本の森林問題解決への提案 **“国内産木材の新たな需要を創出”**
- ◆循環型環境配慮社会への貢献 **“使用後木材の100%再利用(ハルフ材料・燃料・他)が可能”**



佐用町は、平成21年8月・豪雨による大水害を経験。山林では大量の倒木が発生、流木が川の流れをせき止め浸水被害が拡大、その際、健全な山林育成の重要性を痛感しました。

今回、山林の健全な育成を推進し、防災力を高め、循環型環境配慮社会実現への貢献を目的に、“国内初”メガソーラー施設に国内産木材を活用した木造建築構造架台を導入しました。

2) 佐用町とIDECが「LLP」を設立しメガソーラー事業を推進

佐用町とIDECは2013年3月にLLP「佐用・IDECメガソーラー有限責任事業組合」を設立し、メガソーラー施設の建設に着手、2014年10月に完成させ11月より発電を開始いたします。

- ◆LLP(Limited Liability Partnership)は2005年に施行された有限責任事業組合法に基づく組織。業種や規模を超えた連携を企業などに促し、新たなビジネスや地域活性化につなげることを目指します。

ポイントとしては、

- *組合員は出資額の範囲内で責任を負う
- *取締役会などの必要がなく、素早い意思決定を実現
- *組合員2人以上、資本金2円から設立可能

2. 事業の概要

- ◆主 体 佐用・IDECメガソーラー有限責任事業組合
- ◆設置場所 佐用町口長谷字申山 219 番地 15 他 面積 100,540 m²
- ◆発電規模 5メガワット
- ◆年間発電量 533万 Kwh
- ◆年間売電収入 2億2,200万円
- ◆パネル枚数 20,160枚
- ◆総事業費 15億400万円（予定）
（造成費用・送電線敷設費用等1億1,870万円含む）
※森林林業緊急整備事業補助金4,220万円（予定）
- ◆工事期間 平成26年4月14日～10月14日
- ◆請負業者 IDECシステムズ&コントロールズ株式会社
- ◆県産木材使用量 1万2,000本（3m 2,000本、4m 10,000本）
- ◆国内産木材使用量 2,000本（4m 2,000本）
- ◆発電開始 平成26年11月

3. 佐用町、IDECの概要

●兵庫県佐用町 概要

【代表者】佐用町長 庵途典章（あんご のりあき） 【発足】2005年10月1日
【人口】18,571人 【世帯数】7,024世帯（2014年10月1日現在）

●IDEC株式会社 会社概要

【社名】IDEC株式会社 【英文社名】IDEC CORPORATION
【代表者】代表取締役会長兼社長 船木俊之（ふなき としゆき）
【創業】1945年11月 【資本金】10,056,605,173円
【従業員数】連結2,287名（2014年3月31日現在）※特定社員・臨時社員含まず
【上場取引所】東京証券取引所第1部

4. 本事業に関するお問い合わせ先

■佐用町役場企画防災課

まちづくり企画室 担当：久保・篠倉
〒679-5380
兵庫県佐用郡佐用町佐用 2611-1
TEL(0790)82-0664 FAX(0790)82-0131
E-mail:kikaku@town.sayo.lg.jp

■IDEC株式会社

経営管理部広報グループ 担当：村上
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原 2-6-64
TEL(06)6398-2505 FAX(06)6398-2540
E-mail:tmurakami@idec.co.jp

以 上